

生活支援技術Ⅲ

担当教員 馬場 敏彰、吉岡 久美

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 4

準備事項

備考

【授業のねらい】

自立支援の観点から、身じたく・移動・食事・排泄にかかわる基本的な態度と方法について学び、演習を通じて具体的な方法の理解を深める
利用者体験を通して、利用者の気持ちを考えることができるようになる。

【授業の展開計画】

週	授業の内容	週	授業の内容
1	身じたくの意義と目的	16	状態状況別留意点〈上方・水平移動等演習〉
2	身じたくに関する利用者のアセスメント	17	状態状況別留意点〈仰臥位から側臥位等〉
3	生活習慣と装いの楽しみを支える介護	18	状態状況別留意点〈起居から端座位等演習〉
4	整容行動、衣生活を調整するアセスメント	19	状態状況別留意点〈端座位から立位等演習〉
5	身じたくの介助の留意点(洗面)	20	利用者の状態と状況に応じた移動介護の方法
6	身じたくの介助(整髪)	21	食事の意義・目的
7	身じたくの介助(髭剃り他)	22	食事介護の留意点
8	身じたくの介助(爪切り他)	23	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意
9	身じたくの介助(口腔ケア)見守り一部介助	24	利用者の状態・状況に応じた食事介助の留意
10	身じたくの介助(口腔ケア他)全介助	25	排泄介護の意義と目的(気持ちよい排泄)
11	身じたくの介助(衣服着脱介護他)一部介助	26	排泄介護の留意点(安全・的確な排泄介助)
12	身じたくの介助(衣服着脱介護他)全介助	27	排泄介助の状態状況別留意点〈見守り〉
13	移動の意義と目的	28	排泄介助の状態状況別留意点〈一部介助〉
14	移動に関する利用者のアセスメント	29	排泄介助の状態状況別留意点〈全介助〉
15	状態状況別留意点〈上方・水平移動等演習〉	30	入浴に関するアセスメントの視点と方法

【履修上の注意事項】

授業前にテキスト等で、事前学習を行うこと。演習後のレポートは、期限までに提出すること。レポートを通して復習を行うこと。演習では、決められた服装等を準備すること。

【評価方法】

期末試験60%、実技試験20%、授業への取り組み態度20%

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『生活支援技術II』中央法規 最新版

【参考文献】

適宜提示する。